

議会だより

2017

平成29年8月1日発行

No.24



Contents

工事請負契約の締結

- ② 第1回臨時会/6月定例会
- ④ 委員会報告
- ⑦ いっぺん来てつか 議会報告会
- ⑩ 10人が町の考えを問う 一般質問
- ⑩ 議会からこんにちは
若い専業農家として



～ヒマワリと同じえがおがいっぱい～

高篠こども園



平成29年6月定例会

開催期間 6月6日～9日（4日間）

6月の定例会は、6月6日から6月9日まで4日間の会期で開き、工事請負契約の締結2件の可決と人権擁護委員候補者の推薦に同意した。

平成29年第1回臨時会

開催日 5月9日

第1回臨時会を5月9日に行い、専決処分の報告と承認。教育委員会委員任命の同意の2議案を可決承認した。



来春に改修完了予定(琴南支所)

平成29年度第1回臨時会、6月定例会議案内容

平成29年第1回臨時会（会期:平成29年5月9日）	
報告第1号	専決処分の報告について (町国民健康保険税条例等の一部改正)
議案第1号	専決処分の承認について (町税条例等の一部改正)
議案第2号	教育委員会委員任命の同意について
平成29年6月定例会（会期:平成29年6月6日～9日）	
議案第1号	工事請負契約の締結について (平成29年度琴南支所改修工事)
議案第2号	工事請負契約の締結について (平成29年度四条小学校校舎等大規模改修工事)
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について

●平成29年

第1回臨時会

即決案件

報告第1号

専決処分の報告(町国民健康保険税条例等の一部改正)

地方税法の改正が行われ町国民健康保険税条例の一部改正を行った。

議案第1号

専決処分の承認(町税条例等の一部改正)

地方税法の改正が行われ町税条例の一部改正を行った。

議案第2号

教育委員会委員任命の同意

七箇

○青野 公子 氏(再任)

原案同意

●平成29年

6月定例会

即決案件

議案第1号

工事請負契約の締結(琴南支所改修工事)

【契約者】第二建築株式会社
【契約金額】金2億9千4百84万円

原案可決

議案第2号

工事請負契約の締結(四条小学校校舎等大規模改修工事)

【契約者】まんのう経常建設共同企業体
【契約金額】金1億1千1百24万円

原案可決

諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦

吉野下

○秀石 通子 氏

炭所西

○曾我部 照代 氏

原案同意

教育民生常任委員会

●四条小学校大規模改修 ●認知症対策 ●野犬対策 ●ゴミの不法投棄

※4月20日四条小学校大規模改修工事現場視察を行った。

四条小学校改修

教育環境に相応しい
細やかな整備を

【委員】体育館のトイレの改修についてはどのように考えているのか。

【学校教育課長】多目的トイレを新設し、車椅子での利用ができるようにしたいと考えている。



丁寧な視察を重ね、子どもたちに安全と快適を

認知症初期集中支援チーム

早期支援の役割に期待

【委員】チーム立ち上げから現在までの相談件数は。また支援チームが最終的に目指すところはどこなのか。

【福祉保険課長】相談件数についてはまだ0件である。現在認知症でありながら、病院にかかっていない人、施設にもかかって

いない人を、民生委員、高齢者宅を訪問している職員等を通じて把握しサービスや医療に結びつけていくことを目指す。



さまざまな人が出会える場（認知症カフェ）

野犬

責任をもち最後まで世話を

【委員】野犬に困っているとの住民の声が多くなっている。現在どのような対策をとっているのか。

【住民生活課長】従来どおり捕獲箱の貸し出しや依頼があれば、保健所が所有する「捕獲サークル」の貸し出しをしている。また、責任をもって最後まで飼うよう広報していきたい。

ゴミの不法投棄

さらなる対策強化を

【委員】一向に減らず処理件数も増加しているが今後の対策は。またパトロール中に犯行現場をおさえた等の実績はあるのか。

【住民生活課長】対策としては、監視カメラの貸し出しを予定している。パトロールにおいては、不法投棄箇所の確認はできているが犯行現場をおさえたことはない。



町内をくまなくパトロール ー不法投棄は犯罪ー

建設経済常任委員会

●地籍調査

●全国育樹祭

●水道事業広域化

※5月19日「町道仲南帆山本目線道路改良工事」「町道琴南焼尾線道路改良工事」の現場視察に行った。



現場を図面で確認

地籍調査

十分な説明と理解を

【委員】筆界未定の地目等についてはどのように対応しているのか。

【地籍調査課長】地目、及び土地の位置関係等について説明し、理解をもらっている。

全国育樹祭 全町あげてもり上げを

【委員】式典会場でのイノシシ侵入対策、歓迎事業まんのう町民の参加についての計画はどのようなになっているのか。

【農林課長】県の説明ではイノシシ侵入対策としては、しばふ広場



しっかりと対応したい会場となる満濃池森林公園

全体を柵で囲むといった対応になると思う。歓迎事業の行啓時の奉送迎では、沿道で住民に旗を振って歓迎をしていただく予定である。

また、県の計画では、全参加者数は5000人で各市町の推薦枠として本町は100人である。一般応募は抽選となる。

水道事業広域化 合意が重要

【委員】今後のスケジュールはどうなっているのか。

【水道課長】本年の9月議会において、県内全ての構成団体が企業団の設置議案を提案するが、その前提として、構成団体の市・町長間においての合意を得ておく必要がある。

7月もしくは、8月に開催予定の市・町長協議会の場において合意が得られれば基本協定の締結を行う。



常時、配水状況をモニターでチェック

総務常任委員会

●交通安全運動

●公共施設等総合管理計画

●危機管理

●自衛消防

交通安全運動

何としても事故防止を

【委員】高齢者に対し、交通安全運動だけでなく、啓発を強化したい。

では。

【総務課長】各種会合でも、挨拶の最後に交通安全について触れたい。



みんなでつくる無事故のまち まんのう町

公共施設等総合管理計画

将来を見据えて

【委員】満濃農村環境改善センターは大規模改修を検討しているが、建て替えの考えはないか。

【総務課長】現時点では改修を検討しているが、新築も排除しているわけではない。施設としてベストは何かを含め、検討していく。



利用者の多い歴史ある建物

危機管理

有事の際に
万全を期するため

【委員】BCP事業の進捗状況は。

【総務課長】緊急時に対しての、各課での優先順位の取りまとめを現在進めている。

自衛消防

自衛消防団を
どう考える

【委員】自衛消防団員の待遇、公設との位置づけは。

【総務課長】機材等の補助金は出している。公設の消防団に含めるのは、今のところ難しい。



助けを待つ人のために訓練はかせない
(地域の自衛消防団)



いっぺん来てつか

もっと身近な
議会に！



第11回議会報告会の開催

5月13日、14日に町内4会場において開催し、68名の住民の皆さまの参加を頂きました。耕作放棄地、育樹祭、道路の安全対策、子育て、健康、高齢者の移動手段、町おこし、等々について住民の皆さまから貴重なご意見をいただき活発な意見交換をおこなうことができました。

その中からいくつかお伝えいたします。

※皆様から頂きました貴重なご意見等は、全議員で共有し、今後の議会活動に活かしていきたいと思っております。ご要望等については議会より執行部にお伝えをさせていただきます。執行部からの返答も一部ですが掲載いたします。

道路整備

できるだけ早よしてくれんかな

問 長炭こども園から国道438号線にでる南側の道路は、道



長炭公民館「なごみ館」

幅が狭くこども園に通う保護者が不便な思いをしている。早く工事に着手してほしい。

答

平成29年度に現地の測量を行い、平成30年度より工事に着手する予定となっている。



長炭公民館「なごみ館」

通学路の安全対策

危険を予測した対策で子どもたちを守ってほしい

問 自転車通学をする生徒の安全のため十分な対策をお願いしたい。

答

児童、生徒が安心して登下校できるように議会としてもさらに取り組んでいきたい。



長炭公民館「なごみ館」

健康

健康意識を高めな
いかんと思うんや

問

まんのう町の「いきいき体操」をもっと広めていくべきではないか。始めは活発だったが、最近あまり聞かなくなった。

答

平成29年度は、引き続き出前講座を実施し健康教室と合わせて、体操の実地指導に取り組む。また、休日のオフトーク放送を活用して啓発を行う。さらに「まんのういきいき体操推進員」の養成に取り組んでいきたいと考えている。(健康増進課)



仲南公民館

ゴミの不法投棄

なんとかせないかん

問

監視カメラの設置も必要だと思つ。

答

自治会への監視カメラの貸与を行っている。(住民生活課)



仲南公民館

道路の安全対策

事故があつてからでは遅いで

問

国道438号線の炭所大橋から長尾方向に一定区間は、追い越し禁止区間でないため、かなりのスピードを出し走行する車があり危険である。

答

琴平警察署に要望し、取り締まりの強化を行うとの回答をいただいた。(総務課)



琴南公民館

観光

豊かな自然を活かさないかん

問

まんのう町には、宿泊施設が少ない。満濃池周辺に自然を体験できる宿泊施設ができればいいと思う。

答

議員も一般質問などで、民泊、宿泊施設など観光誘致にむけた取り組みを要望している。

ふるさと納税

温泉券も喜んでもらえるんちがうかな

問

返礼品に、まんのう町内の温泉券も加えれば町に来る人が増えることに繋がると思つ。

答

今年4月総務省から趣旨に反する返礼品の見直し通知があった。温泉券は温泉利用の促進もあり、今後総合的に判断したい。(企画観光課)



琴南公民館



満濃農村環境改善センター



満濃農村環境改善センター

ものづくり

地域資源を 活かさないかん

問

薬草を利用した取り組みはあるのか。

答

ものづくりプロジェクト事業として、「ひまわり」「かりん」「薬草」の栽培や加工に取り組んでいる。

議会に対するご意見

問

・自主財源を増やすことを議会も考えていくべき。
・議会議事録をホームページに掲載してほしい。
・議会報告会を小単位の自治会でも開催してはどうか。

答

・全員協議会等で話し合ってきたと思います。

その他の町民の皆さんからのご意見をいくつか紹介いたします。

町おこし推進

・町民へのPRや購買意欲喚起のため、少量ずつでもひまわり油を配ればいいのではないか。

ゴミ収集

・自治会によってカゴの設置のあるところと無いところがある。車での走行時ゴミが散乱していたことがある。対策が必要だと思う。

町財政

・依存財源が多すぎるのではないか。自主財源を増やしていかなければいけないと思う。

野犬

・育樹祭にむけて対策が必要ではないか。

農業支援

・中古の農機具購入の助成制度はできないか。

自治会

・定例会は必要。私の自治会では、皆が喜んで参加できるよう魅力ある会の内容を心がけている。

健康

・われわれ住民も一人一人が、予防に力を入れて自分の健康維持に取り組まなければいけない。

今回の議会報告会（意見交換会）にご参加いただきました住民の皆さま大変ありがとうございました。

議員名	質問内容	関連ページ
川西米希子	・子育て支援（就学援助、他） ・障がい者、高齢者支援（ヘルプカードの導入、他）	P11
合田 正夫	・育樹祭について ・各課の対策について	P11
竹林 昌秀	・当任期中の一般質問への答弁の実施と遂行の実績を問う ・本町の働き方改革を問う。時間外勤務の実態報告を求める ・ひまわりプロジェクトの事業運営計画の内容と収支採算計画の説明を求める	P12
関 洋三	・中讃ケーブルテレビについて ・認知症予防について ・自主防災組織設立について	P12
松下 一美	・国道438号の問題点を問う ・県道長尾、丸亀線の緊急点検をされては	P13
三好 郁雄	・琴南地区の公共交通を考え直してはどうか ・免許返納者に対してもう少し感謝の対策を	P13
藤田 昌大	・満濃池が世界かんがい施設遺産に認定・登録されたが、町づくりにどう活かしていくのか ・若者定住支援について	P14
三好 勝利	・最近、全国的に普及しつつある中学生ジュニアゴルフ部の設立について、当局としてどのように考えておられるのか ・町道、県道での事故多発区間の道路改良について（最近10年間の統計）、早急に手を打つべきではないか。 ・農業政策関連の補助金、協力金を見直してはどうか。新しい助成金制度の制定	P14
川原 茂行	・農業振興について ・育樹祭	P15
白川 正樹	・満濃池一周コースについて	P15

議員



町長・教育長

議員が町の考えを問う

6月定例会では、10人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ（議会情報）に掲載していますので、ご覧ください。

そうだ、議会へ行ってみよう！

町議会は、どなたでも傍聴できます。
会議日程は、ホームページ、
告知放送でお知らせしています。

次回の定例会は
9月に
開催予定です。

詳しくは議会事務局へ ☎0877-73-0109



議会の傍聴席（後方）

まんのう町 HP 議会情報 <http://www.town.manno.lg.jp/gikai/>

子育て支援（就学援助費）

問 入学準備の期間に支給を

答 支給できるよう認定方法など検討



川西 米希子 議員

川西 小、中学校の入学準備には、多額の費用がかかる。要・準保護児童生徒の保護者に対する就学援助のうちの「新入学児童生徒学用品等」の支給については、現在の支給を早めて入学準備期間（3月末まで）におこなうのがより現実に沿った支援ではないか。また、母子家庭の経済的自立に向けた就労相談・資格取得の支援体制の強化も必要と考える。

教育長 ランドセルや制服を購入する前に支給を行えば保護者にとつては、経済的な余裕が生まれることも十分理解できる。入学準備の前に支給できるよう検討したい。また、母子家庭の経済的自立に向けた就労相談等については、中讃保健事務所と連携を図っていく。



障がい者 高齢者支援

問 ヘルプカードの導入を

答 香川県と連携を図り導入に向けて検討

川西 障がいのある方や高齢者で介護を必要とされる方が日常生活の中で困った時に提示し必要な支援や配慮を周囲の方に求めるためのカードが「ヘルプカード」である。支援する側にとつても手助けしやすい環境づくりに繋がると考える。慎重な取り扱いが必要ではあるが早期の導入を。



ヘルプマーク

町長 大規模な災害が発生した場合、避難所においてコミュニケーションが上手くとれない方などがこのカードを提示し周囲の配慮や手助けをスムーズに求められるようにするため、また日常生活においても活用が図られるようにするため導入は喫緊の課題だと考えている。

第41回全国育樹祭

問 大成功させ「まんのう町」を全国に発信すべく取り組みを

答 大成功にむけ迅速かつ着実に準備を進めていく



合田 正夫 議員

合田 本町は、本年11月19日に開催される育樹祭の開催地として現在、関係機関、団体との協議のもと着々と準備を進めているところではあるが警備体制、イノシシ対策、会場周辺のゴミ処理、荒天時の会場、式典行事等と課題は多い。これら課題についてどのように取り組んでいくか。

町長 育樹祭は、実質的には県が主体で近々決定する。荒天時の会場は

各課の対策

問 関連する業務は一つの課に集約を

答 より住民サービスに繋がるよう検討したい

合田 農林分野の場合、関連する業務が1、2、3階に分散しているなど住民の利便性が悪い。なお農林課は業務量が多いわりには職員数が少ないと思われる。1か所に集約することで職員の業務効率も上がるのではないかと。また、農林分野は高い専門性が必要な分野でもあるため専門職員の採用・配置も必要ではないか。

町長 なるべく早い時期に考える。農林関係については大変に専門性が高い分野であるため専門職員を採用し配置する。



みどりひろ丸くん来庁
(第41回全国育樹祭イメージキャラクター)



豊富なビタミンEとオイレン酸

ひまわりプロジェクトの命運

問 推進体制の確立を求める

答 体制を組み上げる

竹林 ひまわりプロジェクトの推進体制の確立を求める。搾油し、調理加工品開発の品質管理ができて、販路開拓を担える編成が要る。

町長 専門性を備えた体制を整える。

竹林 作付け、種の出来高、搾油量、販売高が連関する事業と収支計画の提出を求める。これがないと経営の目処が立たぬ。

町長 順次作成して、説明する。

竹林 寝ても醒めても、販路開拓を懸命に担うのは誰か。この調達が不可欠だ。

町長 組織編成しながら、手当する。

竹林 1億7千万円を生かすも無駄にするのも、ここが焦点だ。町長の覚悟を求める。

町長 力を尽くす。

竹林 集客や町のイメージ向上する公益性発揮のコンセンサスが成り立つのであれば、赤字補填もできるのではないか。

町長 そつならないように、創意工夫に努める。



竹林 昌秀 議員

中讃テレビ

問 公共施設との契約は

答 見直しを図る

関 町内の小中学校やこども園で中讃テレビの取材を受けても、未契約の為に観れない状態をご存知か。

町長 一部のこども園以外は未契約である。今後、全教育施設において契約を勧めていく。

認知症

問 認知症予防対策は

答 きめ細かな対応を図る

関 高齢者の4人に1人が認知症にかかると言われている昨今、小さな集会までも足を運んでの予防周知活動を期待したいが。

町長 頭を使いながらの運動を無理なく楽しんで行う動作を基本に、地域に溶け込んだ予防対策を勧めていく。



認知症予防運動の一例

自主防災組織

問 広域でも推進すべき

答 県もその方針である

関 自治会単位の設立数が伸び悩む中、連合自治会単位の設立も認めて両立を図るべきでは。

町長 県の事業とも一致するので、こだわり無く推進していきたい。



関 洋三 議員

国道438号線

問 早期の整備完了を望む

答 早期完了に向け推進に努める



松下 一美 議員

松下 先般の議会報告会においても国道438号線の歩道の設置要望が多く出た。特に、佐岡交差点近くの未整備区間は、朝、夕の通勤時間帯は交通量も多く危険である。

なお、交差点より北には、東部かんぱいの空弁が3箇所あるが約5センチ程度の陥没により大型車の通行時には大きな音が発生する。付近の住民は夜中に音で目が覚めるなど支障をきたしている。早期の工事完了が待たれるところであるが、現在の進捗状況は。

町長 佐岡交差点より松木神社まではほぼ完了し、札の辻までの早期完了に向け事業推進に努めている。3箇所の陥没については、東部水利組合に早期の修繕を依頼している。

県道 長尾丸亀線

問 事故防止のため緊急点検を

答 県に対策を要望する

松下 長尾の佐岡交差点から祓川橋



見通しが悪く、早期の伐採がのぞまれる立木

までは、カーブが5か所程あり非常に見通しも悪く危険である。最近、重大事故も発生している。歩道のない所もあり歩行者、自転車等は危険を感じながら通行している。警察などの関係機関が一体となり早急に点検を実施すべきではないか。

町長 中讃土木事務所、警察など関係機関と協議し対策を講じている所ではあるがまだ、立木等が茂り見通しが悪い箇所もある。現地確認を行いながら県に対策を要望していく。

琴南地区の公共交通

問 生活基盤を支えるため整備を

答 公共交通協議会で検討



三好 郁雄 議員

三好 高齢者や子どもたちなど車を運転しない住民にとって公共交通は生活に必要な不可欠な移動手段である。美合歯科診療所の造田歯科診療所への統合に伴う移動手段の確保は喫緊の課題である。特に山間部に居住する住民に対しては、よりきめ細やかな移動の確保が必要であると思う。現在の公共交通の見直しも含め充実した移動手段の確保を求める。

町長 この度、琴南地区で公共交通アンケートを実施し調査表の回収を



暮らしの安心と楽しみをつなぐ

高齢者免許返納

問 さらに恩典として

答 福祉タクシー券二年分を

現時点では近隣市町とのバランスを考え難しい

三好 運転免許を返納することは、相当の決意があることでありその後の移動手段の確保も必要である。運転免許証の返納を支援するためさらなる特典が必要ではないか。

町長 本町は、町域が広く加えて山間部は、自動車を利用した道路網に頼らざるを得ないことが免許返納の進まない大きな要因であると思う。公共交通機関見直し等を総合的に県と行いたいと考えている。

満濃池周辺整備と町づくり

問 満濃池が

答 世界灌漑施設遺産に登録
記念石碑が完成



藤田 昌大 議員

藤田 満濃池が世界かんがい施設遺産に登録されたが、満濃池周辺整備事業との関連、満濃池土地改良区との関係はどうなるのか。
町長 平成28年11月、満濃池が世界かんがい施設遺産に登録された。かんがい施設の保全方法の蓄積、研究者一般町民への教育機会の提供、かんがい施設を核とした地域づくりに活用したい。6月15日のゆるぬきの時、満濃池土地改良区では記念石碑を設置し、除幕式典を行う。今後とも副読本の活用、周辺整備事業に活かして町内外にアピールしたい。



満濃池石碑

問 若者定住支援
リサイクルの活用を
答 自主的なリサイクルは
行われている

藤田 若者定住支援の一環として、子育て用品や、学用品、制服の再利用促進をPTAや地域団体を利用して活用できないか。また、小中学校の制服を自由化する考えはあるのか。
町長 自主的なリサイクルは行われている。平成26年4月から子育てポランテア「ひまわり」の活動の中

でクルクルリサイクルを行っている。また、インターネットや地域のフリーマーケットで実施されている。今後とも育児費用の軽減だけでなく、ゴミの減量や資源の有効活用になるので充実を図っていきたい。制服については現状が適当と考えている。画一的な意識にならないよう、個性の伸長と適切な指導を行う。

問 財政の健全化
財政規模の縮小を図ること
答 10年後を目標に

藤田 平成29年度当初予算の中で107億8千万円が計上されたが、合併後10年間100億円強で推移して。標準財政規模は68億7千万円だ。わが町としては80億円が健全指数だと聞いている。財政健全化に向けて中長期財政計画が作成されたが具体的にどう取り組んでいくのか。

町長 財政健全化の要因は自主財源の確保、経費の節減、事務事業の見直し等にある。合併10年を経た今年度も学校や公共施設の改築改修が必要である。有利な合併特例債が終了する、あと4年間で工事を実施していきたい。徹底した事業の見直し、行財政改革の推進等財政の健全化を図っていく。

ジュニア世代の精神教育

問 ジュニアゴルフ部の設置を

答 前向きに検討していく



三好 勝利 議員

三好 中学生のジュニアゴルフ部の設置について。町当局としてはどの様に考えているのか。特に最近、全国的に各分野でジュニア世代の活躍が報道されているが。

教育長 本町は、こんぴらレイクサイドゴルフ倶楽部をはじめ、4つのゴルフ場があり、ゴルフアーにとつては恵まれた環境にあると思っている。このような環境を中学生の教育に役立てて、ゴルフ部の設立を考えてはどうかという質問だと思う。ス



夢は大きく“プロゴルファー”

農業政策

問 新たな助成制度を

答 各分野の方々と
十分協議したい

三好 現在行なっている農業政策関連の補助金協力金を見直して、新たな助成制度を制定してはどうか。(全国初の10年間継続された方々への報奨金)等々。

町長 現在は、多種多様の補助制度があるので、将来、各分野の方々と十分協議を重ね、何か新しい制度を考えたい。



ヒマワリでまちに生気がみなぎる

産業振興・ヒマワリ

問 知ること
士気高揚を

答 前向きに取り組む



川原 茂行 議員

川原 本町の地方創生における総合戦略では、地域資源を生かした産業振興策として、さまざまな取り組みがあるが、もっとも力を入れていることの一つに「ヒマワリのまちづくりプロジェクト」の推進がある。実質的には、本年度が本格的に取り組む初年度だと思う。今後は、栽培の継続、商品開発、販路の確保が重要になってくる。まずは、ヒマワリに関する町の取り組みを住民に知ってもらい関心を高めていくことが必要だと思う。開発したヒマワリ油を少量でも各戸に配布してはどうか。

遊休農地

問 町の判断で貸借できる
ようにはできないか
答 現時点では難しい

川原 遊休農地が増加している。所有者や相続人が特定できないことによる遊休農地の再生をはかるため、実質的な管理や判断をされている方との貸借ができるようにできないか。農業会議において本町の現状を強く伝え県そして国へと上げてもらいたい。

町長 現時点では、町の判断での貸借はできないと考えている。農業委員会の中でも遊休地問題は議題に上がっている。何とか解決する方法はないかということこれから農業会議に相談をかけていく。

遊歩道整備

問 満濃池一周コースは
いつ出来るか

答 平成33年度完成予定



白川 正樹 議員

白川 ①進捗状況は。
②包括連携協定を締結したモンベルとの関係は。
③一周コースはいつ出来るか。
④出来た後の活用法は。

町長 ①予定コースが保安林のため香川県と保安林解除の協議をしている。解除が不要な満濃池土地改良区所有地は調査測量を実施している。
②アウトドア空間づくりの基本構想段階において様々なソフト事業のアドバースをお願いする。
③30年度に基本構想・基本計画を策定し31年度に交付申請の後、決定を受けて、工着手となり、遅くとも33年度完了予定。
④一周で約12kmの自然景観溢れる変化に富んだ遊歩道になり歩けば4時間足らずの適度なウォーキングコースになる。歩け歩け大会やミニマラソン、また国営公園との連携によるハーフやフルマラソン大会も駐車場



ぐるり 池めぐり

確保が可能な範囲で多くの参加者が期待できる。賑わいが確保できれば限界集落化しつつある五毛地区にも新たな活力が生まれる。流動人口が増えることで民間事業者参入による経済活動も期待できる。



丹精こめ咲かせたガーベラの花



まんのう町七箇 葛原 仁さん
若い専業農家として

家族は祖母(102歳)父親(75歳)本人(45歳)妻(39歳)子ども(男の子3人、女の子1人)の8人家族である。高校3年の時、農業に興味を持ち、農業大学校



家族でまごころも詰め出荷(ミニトマト)

で2年間習い1年間先生の教育助手を務め、その後県内優良生産者に1年間実地研修を受け、平成7年念願の就農に至る。現在、年間栽培鉢数は12万鉢で愛知県から山口県まで15市場に出荷している。それまでの苦労としては販売先の確保が大変だった。最近、販路拡大として100%契約販売でミニトマトに力を入れている。秋と春に販売して夏と冬にその準備で、一年中休み暇がないが一番のやりがい。自分で作りたいものを自分で決められることである。

議会だよりを発刊するに至った経緯として、平成22年度の政策充実特別委員会、議会改革の一環として「まんのう町議会基本条例」の制定をめざし1年間の審議を行い、平成23年3月定例議会で可決されました。主な内容としては、すべての議会及び委員会を原則公開、年2回の議会報告会の開催、行政告知放送による本会議の生放送、そして議会だよりを年4回発行するというものです。

今回で24回目の議会だよりとなりました。今後とも解りやすい議会だよりを、目指してまいります。

議会広報特別委員会
委員長 川西米希子
副委員長 白川 皆男
委員 川原 茂行
委員 大西 豊
委員 白川 年男
委員 白川 正樹

あとがき

編集委員 大西 豊

7月8日子どもたちが楽しみに待っていた「ちびっこ納涼まつり」が開催されました。いろいろなコーナーがあり子どもたちは大盛り上がり、嬉しい笑顔であふれていました。



今月の表紙
高篠こども園



リサイクル可能な植物油インキを使用しています。

●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会事務局 TEL: (73) 0109 まで